

広報 ぐじょうめ

発行所 秋田県五城目町役場文書広報課編集
電話 (01885)② 代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所
電話 (01885) ② 2430番
一部 5円 郵便番号 018-17
毎月 1日・15日発行



（
広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします
）

秋田杉の天井板に感銘

～ スウェーデン大使来町 ～

ようこそベント閣下

一月十二日、駐日スウェーデン王国大使ベント・オーデヴァル閣下が来町し、加賀谷木材株式会社を視察した。これは、各国外交機関が日本の外務省と提携して、各都道府県を表敬訪問しているもので、このたび東北の代表県として秋田県を訪れ、佐々木知事をはじめ、秋田市役所、同商工会議所を表敬された。

大使は訪問先の産業経済事情や民情視察を常としているが、スウェーデンは国土の五〇％以上が森林であるところから、林業が秋田に非常に関心が深く、今回特に五城目の木材会社と秋田市の企業組合学校工場を視察されたものである。

レベルが高い製材技術

オーデヴァル大使は、一泊九〇を超す偉丈夫なスタイリストで、単身の気軽な訪問であった。

通訳の喜多川（自治研修所主席参事）さんを通じて造林杉の成長期間や天然杉の年輪など、加賀谷町長に木目細かな質問をしていたが、杉林の緑地帯に金網がめぐらされているのを見て「何か動物でも飼っているのですか」町長すかさず「にわとり」の放し飼いです」ユーモラスな問答に、一行ドット湧く。

大使は、工場の作業行程や製品の説明を受ける中で、高級柱として最近注目をあびている杉の丸太柱に目をとめられ、製造方法や仕上り価格、店頭売り価格など微に入り細に入りきいていた。

視察を終えた大使は「日本の製材技術と製材効率は非常にレベルが高い。そして天然杉の天井板は特にすばらしいものがある」高く評価「ただ、スウェーデン製のチェーンソーが、あまり目につかないのは残念だ」と述べていた。

ユーラシア大陸最大の鉱床

スウェーデンと言えば、スウェーデンリレーとかスウェーデン体操それに、冬期間乳牛用の多汁質飼料として知られているスウェーデンかぶの名前が思い当る。政治的には三権分立主義を採る立憲君主国である。オーデヴァル大使に閣下の称号がついていることでも伺い知ることが出来る。

スウェーデンの経済を支えているものに、森林資源とユーラシア大陸最大の鉄鉱床がある。この資源の利用に発明と創意工夫を加えて、自国の工業を支えているのはあまりにも有名だ。しかし、地球的規模で取りざたされているエネルギー源の不足と木材産業の不況は、スウェーデンにも影を落している。今年の九月、国立京都国際会館で開かれる国際林業研究機関連合世界大会がある。森林環境、造林、森林生物、保護、林産物などが討論される。そのような時代に入っている。

選挙特報

昭和五十六年一月十五日

五城目町選挙管理委員会

電話 (役場) ②二二〇〇
(臨時直通) ②四三〇二

この特報は、二月十五日執行の五城目町長選挙
に関する連絡事項を速報するものである。

このたびの選挙は、私たちの最も身近な選挙であります。

この選挙の意義を十分理解し、明るく正しい選挙を実現することが、
住みたくなる、くらしよい、魅力ある町づくりにつながると思います。

告示ならびに投票、開票は、次のとおりです。

告示日 二月 八日

投票日 二月 十五日

(午前七時から午後六時まで)

選挙会 二月 十五日(開票)

(午後七時から)

ただし、閉じる時刻を繰上げる投票所は
次のとおりです。

繰り上げる投票所	投票時間	繰り上げる時間
馬場目第三投票所	午前七時から午後五時まで	一時間
馬場目第四投票所	午前七時から午後五時まで	一時間
馬場目第五投票所	午前七時から午後四時まで	二時間
富津内第四投票所	午前七時から午後五時まで	一時間
内川第三投票所	午前七時から午後五時まで	一時間

● 投票所は22カ所 この選挙における投票所は、下記のとおりです。

投票区	投票所	投票区	投票所
五城目第一投票区	築地町児童館	富津内第一投票区	秋田末広繊維株式会社社会議室
五城目第二投票区	五城目町役場第三会議室	富津内第二投票区	富津内地区 コミュニティセンター集会所
五城目第三投票区	五城目幼稚園遊戯室	富津内第三投票区	富津内中学校理科室
五城目第四投票区	五城目町公民館 馬川分館会議室	富津内第四投票区	北々口公民館
五城目第五投票区	南秋田郡製材協会会議室	内川第一投票区	湯ノ又公民館
五城目第六投票区	上樋口公民館	内川第二投票区	内川児童館
馬場目第一投票区	町 村 会 館	内川第三投票区	小倉公会堂
馬場目第二投票区	中村林業集会所 (中村公民館)	大川第一投票区	大川多目的集会所
馬場目第三投票区	恋地公民館	大川第二投票区	西野公民館
馬場目第四投票区	杉沢公民館	大川第三投票区	谷地中公民館
馬場目第五投票区	金沢喜市宅(落合)	面海投票区	森山公民館

▼ 立候補届出について

立候補届出は二月八日から二月九日までの二日間、毎日午前八時三十分から午後五時まで受付しますから、候補者になろうとする方は、この期間中に届け出て下さい。

▼ 不在者投票について

不在投票は、選挙の当日正当な理由によって投票所におもむいて投票することができない選挙人のために、投票日の前にあらかじめ投票する方法です。

● 次の場合は不在者投票ができます。

① 選挙の当日、選挙人がその属する投票区の区域外において職務又は業務に従事である場合。

② 選挙人が、やむを得ない用務又は事故のためその属する投票区のある市町村外の区域外に旅行中又は、滞在中である場合。

③ 選挙人が、疾病、負傷、妊娠、老衰、不具若しくは産じよくにあるため歩行が著しく困難である場合、又は監獄、少年院若しくは婦人補導院に収容中である場合。

※ 疾病、負傷、妊娠、不具等の場合、自宅において不在投票はできないことになっております。

※ 不在者投票する方は、印かんを持参してください。

不在者投票は、選挙期日の告示の日(二月八日)から投票日の前日(二月十四日)までの間に行われます。なお、不在者投票用紙等の請求は、告示日の前でもできます。このほか不明な点があったときは、選挙管理委員会に問合せください。

▼ 有権者の資格等について

このたびの選挙に使用する選挙人名簿は、昭和五十六年二月六日現在において調製した選挙時登録と、それ以前に登録調製した選挙人名簿で行われることになります。

※ 住所要件は、二月六日まで三カ月間継続して住所を有した者。

(昭和五十五年十一月六日以前に住民基本台帳に登録したもの)

※ 年齢要件は、二月十五日現在で満二十歳に達するもの。

(昭和三十六年二月十六日以前の出生者)

▼ 入場券の配付について

入場券は、近日中市政協力員を通じて配付いたします。町内転居者については、住民基本台帳に基づいて処理しましたが、一月一日以降のものは従前の住所地に配付されます。もし配付されない方は、ただちに選挙管理委員会事務局にご連絡ください。

▼ その他

移動した時点(転出)で、五城目町の選挙権はなくなります。

※ 学生・生徒の住所の認定について

勉学のため寮、下宿等に居住する者の住所は、その寮、下宿等が家族の居住地に近接する地にあり、休暇以外にもしばしば帰宅する必要がある等特段の事情のある場合を除き、居住する寮、下宿等の所在地にあります。(したがって、入場券が配付されても右の場合は投票できません)

五城目町長選挙が執行されます

この一票 あなたが築く よい郷土



消防出初め式

120人と9団体を表彰

消防出初め式は、一月六日午前九時から、消防署員や消防団員など約三百五十人が参加して行われた。時折りふぶくあいにくの天気であつたが、消防署前で町長の観閲を受けた後、式典会場の広域体育館まで分列行進を行い、今年一年の無火災を呼びかけた。行進には昨年購入したポンプ車や県内では初めての防火広報車も加わり、町

の人たちに披露された。

式典は午前十時から広域体育館で行われ、国歌斉唱の後、小玉消防団団長が天皇陛下のお言葉を奉読した。

続いて、長年にわたって防火、消火活動に精励し、功績のあつた百二十人と九団体が表彰された。

観閲で行われた中でのふぶき

加賀谷町長は式辞の中で「昨年の当町における火災は、一昨年に比べると件数では三分の一、被害額では半分以上に減少している。これはひとえにみなさんの火災予防に対するご尽力のおかげと深く感謝する。本年は、さらにこの数字の減少に万全を期するよう希望する」と激励した。

最後に、畑沢消防団副団長が、「災害時においては迅速果敢に行動し、もって二万町民の生命財産を守りぬくとともに、消防本来の使命達成にまい進する」と全団員を代表して宣誓し、無火災と防火の決意を新たに示した。		に」と訓示した。	
火災予防の功労		表彰功労章	
消防施設協力者		表彰功労章	
浦横町 小野新一		浦横町 小野新一	
落合 伊藤多右衛門		落合 伊藤多右衛門	
四ツ屋 加藤正孝		四ツ屋 加藤正孝	
上山内 山耕之助		上山内 山耕之助	
脇村 小玉勝蔵		脇村 小玉勝蔵	
功 功 章		功 功 章	
前本部 分団長 伊藤次郎		前本部 分団長 伊藤次郎	
前十二分団 八柳久一		前十二分団 八柳久一	
前十三分団 佐藤金一郎		前十三分団 佐藤金一郎	
功 功 章		功 功 章	
松橋 四郎		松橋 四郎	
沢田石忠作		沢田石忠作	
嶋崎昭三郎		嶋崎昭三郎	
小玉 正		小玉 正	
功 功 章		功 功 章	
鳥井 悦朗		鳥井 悦朗	
加藤 実		加藤 実	
石川 堅		石川 堅	
内藤 実		内藤 実	
伊藤 雅治		伊藤 雅治	
椎名吉五郎		椎名吉五郎	
朝野 春男		朝野 春男	
工藤 隆男		工藤 隆男	
小藤 珍市		小藤 珍市	
佐藤 勝彦		佐藤 勝彦	
功 功 章		功 功 章	
小玉 賢一		小玉 賢一	
猿田 清		猿田 清	
舘岡 敏雄		舘岡 敏雄	
一関 鉄一		一関 鉄一	
武田 昭雄		武田 昭雄	
石井 与七		石井 与七	
児玉 健		児玉 健	
功 功 章		功 功 章	
伊藤 富美市		伊藤 富美市	
武田 昭雄		武田 昭雄	
山田 喜孝		山田 喜孝	
石井 与七		石井 与七	
竹田 勇		竹田 勇	
佐々木勘九郎		佐々木勘九郎	
椎名 富夫		椎名 富夫	
伊藤金一郎		伊藤金一郎	
工藤喜佐雄		工藤喜佐雄	
千葉堅之助		千葉堅之助	
浅野 登		浅野 登	
小玉 義雄		小玉 義雄	
功 功 章		功 功 章	
米田 兼光		米田 兼光	
山田 良悦		山田 良悦	
菊地 覚		菊地 覚	
本間 善信		本間 善信	
舘岡 金雄		舘岡 金雄	
斉藤 鉄雄		斉藤 鉄雄	
小玉 正光		小玉 正光	
舘岡 三男		舘岡 三男	
草皆 純光		草皆 純光	
田中 康男		田中 康男	
石井 昭		石井 昭	
小林 正志		小林 正志	
伊藤 悦美		伊藤 悦美	
伊藤 比文		伊藤 比文	
松橋 常夫		松橋 常夫	
佐藤 肇		佐藤 肇	
加藤 勝男		加藤 勝男	
功 功 章		功 功 章	
渡辺 博直		渡辺 博直	
佐藤 志美		佐藤 志美	
功 功 章		功 功 章	
村上 勝美		村上 勝美	
舘岡 金敏		舘岡 金敏	
舘岡 義昭		舘岡 義昭	
佐々木真作		佐々木真作	
石川 謙一郎		石川 謙一郎	
金沢 正喜		金沢 正喜	
佐々木堅治郎		佐々木堅治郎	
小玉 俊雄		小玉 俊雄	
千葉 博一		千葉 博一	
千田 善男		千田 善男	
佐藤 真悦		佐藤 真悦	
齊藤 金英		齊藤 金英	
功 功 章		功 功 章	
伊藤 次郎		伊藤 次郎	
小玉 時也		小玉 時也	
佐々木兼治郎		佐々木兼治郎	
椎名 勇		椎名 勇	
伊藤 邦雄		伊藤 邦雄	
工藤 光儀		工藤 光儀	
沢田石正雄		沢田石正雄	
小玉三治郎		小玉三治郎	
沢田石小太郎		沢田石小太郎	
八柳 久一		八柳 久一	
小藤昭太郎		小藤昭太郎	
鳥崎 正男		鳥崎 正男	
佐藤金一郎		佐藤金一郎	
加藤理紀之助		加藤理紀之助	
伊藤 豊蔵		伊藤 豊蔵	

募集状況

募金方法	募金額	募集概況
戸別募金	1,196,012円	3,713世帯(募金世帯数)
職域学校募金	16,757円	五城目小学校2年3組児童外3件
前年度繰越金	164,661円	配分時点における繰越金 65,649円
預金利子	3,049円	配分後の義援金 4件 99,012円
計	1,380,479円	昭和55年2月25日 1,042円
		昭和55年8月18日 2,007円

贈呈状況

贈呈対象	人員	贈呈金額	贈呈概況
生活保護者数	198人	198,000円	1人当り 1,000円
人数	142人	355,000円	1人当り 2,500円
ボーダーライン世帯	43世帯	129,000円	1世帯当り 3,000円
母子家庭人員	51人	102,000円	1人当り 2,000円
ねたきり老人	16人	32,000円	1人当り 2,000円
1人暮らし老人	18人	54,000円	1人当り 3,000円
24人	24人	48,000円	1人当り 2,000円
老人夫婦世帯	5世帯	15,000円	1世帯当り 3,000円
心身障害児者	7人	14,000円	1人当り 2,000円
10人	10人	20,000円	1人当り 2,000円
総合病院入院者	9人	18,000円	1人当り 2,000円
立療養所入所者	7人	14,000円	1人当り 2,000円
精神病院老人病入院所者	67人	67,000円	1人当り 1,000円
施設入所者	29人	58,000円	1人当り 2,000円
老人ホーム森山荘入所者	21人	42,000円	1人当り 2,000円
交通災害遺児	2人	4,000円	1人当り 2,000円
雑費		46,890円	書留料金外 8件代 163,589円
計	597人 48世帯	1,216,890円	

小作料標準額表(別表)

農 地 の 区 分			小作料の標準額	備 考	
田 畑の部	平担部	大面川瀨 (旧)五城目 } 全 域	A地域	44,000円	10 a 当収量 630kg
			B地域	42,000円	// 600kg
	中間部	馬場目(帝釈寺 ~ 水沢) 富津内(下山内 ~ 脇乙) 内 川(黒土~浅見内の一部)	C地域	39,000円	// 570kg
			D地域	37,000円	// 540kg
	山間部	馬場目(恋地 ~ 合地) 富津内(落合・高千・北々口) 内 川(小倉・浅見内の一部)	E地域	32,500円	// 510kg
			F地域	30,500円	// 480kg
畑の部		標準額を定めない			

※且し、各地域ともその農地の諸条件(収量等)に応じて小作料の額を定めることができる。

※農業委員会の承認を受けた場合は、小作料を金銭以外のもの定めることができる。

- 退職者(十二月三十一日付)
- 一関 勝巳(民生部長)
 - 石井 孫一(教委学校教育課長)
 - 石井 浩三(議会議務局長)
 - 民生部長心得
 - 伊藤 長一郎(保健衛生課長)
 - 大川 保育園長
 - 館岡 克己(住民課長)
 - 議会議務局長
 - 伊藤 礼治(水道課長)
 - 水道課長
 - 一関 竹治(建設課長)
 - 保健衛生課長心得
 - 八柳 一己(保健衛生課主査)
 - 住民課長心得
 - 桜庭 勇助(住民課主査)
 - 消防部局へ出向
 - 泉谷 春治(復職庶務課付)
 - 建設課長事務取扱
 - 石井 全司(建設部長心得)

ボイススカウトの活動費にと三万円

昭和四十八年五城目町功労者として表彰された石川兼吉氏が一月四日八十歳の生涯を閉じられた。一月十三日、ご遺族の石川俊子さんが町の教育委員会を訪れ、青少年の健全育成に大きな役割を果たしている町のボイススカウトの活動費にと香典返しとして三万円を贈られ、関係者から深く感謝されている。

故石川兼吉氏は、ボイススカウト秋田第三十団(五城目)副団員長として、昭和三十八年の創団以来現在まで活躍してこられた方である。

十二月一日から始まった「歳末たすけあい運動」に町内のみなさんからたくさんのお義援金が集まりました。その総額は百二十一万二千七百六十九円にもなりました。三千七百十三世帯からご協力をいただき、五城目小学校の二年生のクラスからの善意などもありました。社会福祉協議会では、この義援金を町内の生活に困っている家庭や寝たきり老人、身心障害者の人たちにさしあげ、明るい正月を迎えたいと願っています。

歳末たすけあい
善意の総額は121万円

小作料の標準額決まる

昭和四十五年に法定小作料は廃止され、その猶予期間も昨年の九月で期限切れとなりました。まだ、法定小作料で農地の貸し借りを行っている場合は、五十六年度からの小作料については、農業委員会が示した標準小作料を基準にして、貸し人と借り人が話し合いで決めるようにしてください。

五城目町農業委員会では、十二月十九日に、町内の貸し人と借り人の代表十二人と学識経験者五人からなる五城目町小作料協議会を開き、十二月二十三日の総会で別表のように標準小作料を決定しました。

この標準額は町内の農業経営の実情を調査し、農地の条件などを考慮して定めたものです。

冷害農家の町民税を減免

冷害により、昨年稲作に大きな被害を受けた農家で昭和55年度町民税、国民健康保険税の納税義務者には町条例の規定に基づき次の要領により減免措置が講じられます。

減免対象者

- 冷害による稲作減収損失額が平年における稲作収入金額の十分の三以上であると認められるもの。
- 昭和55年度町民税、国民健康保険税の課税額のうち農業所得にかかわる所得割りのあるもの。
- 昭和54年中の合計所得金額が400万円以下で、その内農業、所得以外の所得が160万円をこえていないもの。

減免される税額

- 昭和55年度町民税、国民健康保険税の内、農業所得に係る所得割額で、昭和55年11月末日以後の納期に係る額。
(町民税 ~ 4期分の内農業所得分)
(国保税 3・4期分)

減免申請の手続き

- 前各号の該当予定者は、各種証明資料により、税務課であらかじめ選考し、納税者あて、減免申請等関係書類を別途送付します。(1月20日頃予定)
- 書類の送付を受けた納税者は指定された期日までに減免申請書を税務課に提出し審査を受けてください。申請者の提出がない場合、税は減免されません。このことについて、ご不明の点は、税務課にお問合せください。

連絡先 五城目町総務部税務課
電話 01885 ② 2100

異動発令

民生部長心得に伊藤氏
(一月一日付)

北嶋倉治(大川保育園長)
伊藤豊蔵(消防署司令補)
猿田ケフ(老人ホーム主事)
門間栄子(雀館児童館)
(敬称略)

ボイススカウトの

活動費にと三万円

集団駆虫を行います

有卵者を対象に

富津内・内川・面潟地区

昨年の十二月に、富津内、内川、面潟地区のみなさんを対象に行いました寄生虫卵集団検査の結果がまとまりました。

検査の対象者は三千七百五十三人でしたが、検査を受けた人はその約三分の一の千三百八十七人でした。

検査結果は有卵者が三百三十五人で、その率は二四・一五パーセントです。このことから、検査を受けなかった人も四人に一人は有卵者の心配があるといえます。

また、虫卵の種類は横川吸虫が圧倒的に多く、三百三十五人の有卵者のうち三百二十三人の方から

をまわして集団駆虫を行います。役場から有卵者の検査表を郵送された人は、必ず駆虫を受けてください。当日は駆虫のほかに寄生虫による主な症状、日常生活による予防、駆虫に対する注意について説明する予定です。

▽日程

・2月3日(火)

富津内落合公民館

午前10時～11時

富津内児童館

午後1時～2時

森山公民館

午後2時30分～3時30分

・2月4日(水)

浅見内公民館

午前10時～11時

湯ノ又公民館

午後1時30分～2時30分

▽料金 四百五十円(薬品代)

▽注意事項

・役場から郵送された寄生虫卵検査表を持参する

・午前中に駆虫する場合、朝食を少量にして酒類や油っこいものをとらないように

・午後には駆虫する場合は昼食をできるだけとらないように

・当日は薬類の服用をさける

町内名	対象者数	検査人員	検査率	有卵者数	有卵率
下山内	215人	115人	48.94%	30人	26.09%
上山内	228	72	31.58	14	19.44
富田	365	132	36.16	23	17.42
八田	89	48	53.93	16	33.33
台・御蔵下	84	24	28.57	4	16.67
脇乙	168	73	43.45	25	34.25
落合	159	91	57.23	19	20.88
高千	166	86	51.81	13	15.12
北北口	153	35	22.88	4	11.43
計	1,647	676	41.04	148	21.89
黒土	155	56	36.13	11	19.64
湯ノ又	456	162	35.53	34	20.99
小川口	88	45	51.14	19	42.22
浅見内	463	184	39.74	59	32.07
小倉	92	31	33.70	6	19.35
計	1,254	478	38.12	129	26.99
岡本一区	303	73	24.09	19	26.03
岡本二区	170	72	42.35	18	25.00
浦横町	226	51	22.57	13	25.49
野田	153	37	24.18	8	21.62
計	852	233	27.35	58	24.89
合計	3,753	1,387	36.96	335	24.15

わたしの教員生活 ⑬

中村 清次郎



昭和七年の満洲事変に続いて、上海事変はつ発となった日支事変以来、戦争態勢が強化された我が国は、昭和十五年十二月八日、米英二カ国に戦意を宣告して大東亜戦争に突入すると、物資の節約、勤労奉仕、増産意欲を高める教育が、次第に強化されていった。

奉仕作業では、田植え、草取り、取り入れなど出征軍人家族の手伝い。また空地、荒地を開墾して、大豆やヒマを作ること等であった。

当時の子どもたちは、慣れない仕事ながらよく働いたものである。国民総決起の歌い文句の増産の波が、矢張りグラウンドの開墾とおし寄せてきた。最初本後の杉林を取り払って畑を作ること、これは、学校の子どもの作業となった。目通り五・六〇cmの杉の木が繁る林の木の根元に、運動会用綱引きの綱を結びつけ、伊藤一先生の号令で高等科の男子生徒がかけ声勇ましく、わっしょ、わっしょと引くと、木の根元がむくむくと盛り上がり、面白いくよく抜けてきた。このように一本一本抜けるたびに、大きな歓声は後の細越山にこだまして、力強いものがあつた。そのあとへ作った畑に、その年はさつま芋を植えたがすばらしい芋ができて子どもたちを大変喜ばせたものである。

戦時中の教育



の徹底を計るため、時の学校長小松冬操先生は職員の開墾作業をも計画し、昭辰町(今の児童遊園地南側)の空地に大豆を蒔いて「師魂錬成農場」の標柱を立て、放課後時々手入れ作業に行つた。

当時の校庭は校門側より校舎側が低く、排水も悪かったため、雨降りのたびに泥庭化し、テニスコ

んだ時など、焼くつくような夏の日で、だから汗を流して砂を運び子どもたちを激励するように、沿道のそこに冷たい水を置いたくれた家があつた。当時の子どもたちが、今でも忘れられない思い出として話している。

写真

昭和十八年六月

師魂錬成農場開設

現在の昭辰町児童遊園地の南側

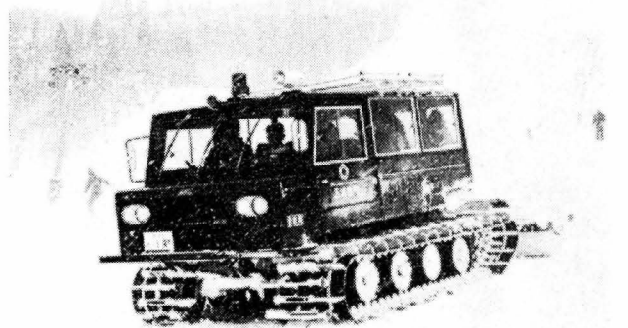
荒地 バックの村は高崎下村

右側に馬川神社の森が見える

恋地スキー場開き

シーズンの安全を祈る

雪上車の試運転を行う



今後の活用が期待できる雪上車

恋地開設スキー場の開場式は、一月八日午前十時半から、関係者など約五百十人が参加して行われた。

今年は積雪が十分で、昨年の十二月末からすでにリフトが稼動しており、スキー場開きはスキーシーズンの安全を祈って行われたもの。神事で安全祈願を行った後、

雪による被害届けを早目に

―受付 森林組合・林政課―

十二月二十八日以来の降雪による森林被害は、昭和四十九年の災害に迫るほどの状態である。

一、二齢級の木はもちろん、二十五年生から三十年生くらいの林分でも、間伐の遅れている林分は、胴折れがひどくなっている、今後の降雪量によっては被害

め緊急時に使用されるほか、救難者の救助にあたることになっている。また、スキー場の圧雪整備にも利用できるなどその用途は広く今後の活用が期待できるものである。

スキー場にはリフト一基とロープトウ二基を設置してあり、料金は昨年と同じである。稼動時間は午前九時から午後四時まで。

またスキー場にはスキーヤーのための駐車場・食堂・トイレもあり、家族で楽しめるよう配慮している。駐車場は三カ所あり、二百台以上駐車でき、無料である。トイレはスキー場内のトイレのほか生活改善センター内のトイレも使用できる。

リフトおよびロープトウの料金は次のとおり。

▽リフト

小人一回券 六十円
大人一回券 八十円
小人十回券 五百円
大人七回券 五百円
一日券(小人・大人) 千五百円

▽ロープトウ

小人八回券 百円
大人六回券 百円

〓屋内温水プール〓

吹雪をよそに

水泳練習

冬期間もスイミングスクール

屋内温水プールでは、冬期間も個人が利用するほか計画的に「短期スイミングスクール」や「水泳教室」を開くなど効率よく運営し

ている。

一月八日から十二日まで行われた「短期スイミングスクール」には百五十人の子供たちが参加し、外の吹雪をよそに思い切り水しぶきをあげていた。このスクールは冬休み中の小学生を対象にしたもので町内からだけでなく大潟小学校からも参加した。

子供たちは午前の部と午後の部の二班に分かれて、それぞれ約一時間みっちり練習した。指導は秋田市から出張してきた専門の指導員があたり、子供の泳力に応じて五クラスに分け、全然泳げない子供は水に慣れることから行い上級クラスは、ビート板を使って二十五メートルを一気に泳いだ。

水温三十度、室温も三十度に温度調整されており、飛びこんでも水の冷たさを感じない。子供たちは指導員の号令に従って、広いプ

ールを全部使って練習にはげんでいた。

また温水プールでは、火曜日から金曜日まで園児、小学生、一般に分かれた水泳教室も行われている。

プールの事務局では、三月の末に春休みの小学生を対象にした短期スイミングスクールを開きたいとしている。

また、指導員の資格をもった職員も二人おり、水泳教室や水泳大会などを活発にして、たくさんの人たちから利用してもらう方針でいる。

献血ありがとう

ございます

一月十四日、町内四カ所を献血車が巡回して献血をお願いしたと

ころ、たくさんの方たちの協力が得られました。

献血者のお名前は次のとおりです。(敬称略、数字は献血回数)

畑沢	石川	児玉	加藤	猿田	石井	石井	伊藤	畑沢	小玉	猿田	千葉	進藤	本間	館岡	武田	藤本	渡辺	浅野	鳥井	越前	佐々木	佐藤	石井	小玉	伊藤	原田	高橋	館岡	小玉	小林	佐藤	伊藤	
房男	幸雄	泰	巖	秀樹	政則	正美	光雅	清初	一	和香子	金滋	清耕	宏	敬悦	晃	武雄	正善	カズ子	浩子	裕美子	直人	善美	幹夫	恵	康一郎	幸男	稔	作雄	与二郎	孝一	登	憲一	久
2	29	9	3	4	6	14	26		4	12	9	6	22	8	6	15	1	32	2	5	5	9	9	15	13	10	15	14	28	35	2	33	6
児玉	山田	小熊	藤田	伊藤	伊藤	島山	伊藤	小玉	北嶋	館岡	伊藤	伊藤	小玉	館岡	佐藤	北島	伊藤	小玉	猿田	浅野	尾口	渡辺	渡辺	佐々木	館岡	野呂	大森	熊谷	児玉	佐藤	鎌田	泰子	
昇	広美	信男	清孝	聡	伝	政憲	百合子	哲男	美保子	金敏	光弥	一志	英己	敦	智	正千代	秀夫	正行	和子	淳悦	忠春	鉄男	秀勝	浩志	初男	誠治郎	俊雄	多津子	嘉孝	泰子	9		
16	4	24	4	4	5	10	11	4	17	17	21	15	5	4	6	20	23	8	7	20	8	29	29	16	14	41	5	3	34	9			

全県ロードレース馬場目大会

町外選手が上位独占

馬場目走友会(会長・金野金五郎)が主催する第一回全県ロードレース馬場目大会は、一月一日、町内外から七十人の選手が参加して行われ、町外のランナーが上位を独占した。

レースは馬場目児童館前を出発点として、各年齢別に距離を決めて行われた。当日は快晴に恵れ、参加選手は大いに張りきり、新春にふさわしい好レースを展開した。町内選手も他町村の強豪の中にあって健闘したが、女子の部をのぞく各部門の上位は、他町村のランナーが独占した。

成績

▽中学生(小学生)一、五〇〇m
1 大淵 和人 若美町 4、56、



レース前半40歳代の部で先頭を走り健闘した斎藤耕之助選手(町村)

▽1 校生(20歳代)四、六〇〇m
1 加羅谷豊欽 天王町 15、40、
2 小玉 兼美 秋田市 15、55、
3 小森 正則 五城目 16、31、
4 石井五兵衛 寺庭
5 伊藤 真紀 町村
6 齊藤 幸一 町村
▽30歳代 三、五〇〇m
1 小玉 稔 若美町 13、32、
2 伊藤 朝夫 飯田川町 14、47、

▽40歳代 二、〇〇〇m
1 菅原 勝雄 昭和町 7、07、
2 菅原 勝美 昭和町 7、15、
3 金野 勇悦 平ノ下 7、30、
4 佐藤文太郎 昭和町
5 草皆 三夫 帝釈寺
6 佐藤 現悦 中村
▽女子の部 一、五〇〇m
1 石井 淑子 中村 6、31、
2 伊藤真理子 町村 6、48、
3 猿田美和子 五城目 7、17、
4 石井 延子 寺庭
5 伊藤 信子 町村
6 伊藤美智代 昭和町

水泳バッチテスト

2〜5級に34人が合格

第一回水泳バッチテストは十二月十四日、屋内温水プールで行われ、中学生から一般まで五十人が参加した。試験は標準記録にてらしあわせて行われ、二級から五級まで三十四人が合格した。

合格者は次のとおり。

五級	伊藤奈々子(落合)	二級	伊藤 恭二(脇村)
石川 茂光(雀館)	柴田 融(下町)	伊藤 智(脇村)	
四級	菊地 公子(落合)	近江 昌紀(高樋)	
伊藤真記子(落合)	伊藤 隆一(落合)	伊藤 嘉之(高樋)	
伊藤 幸子(北村)	伊藤 美奈子(下高康)	伊藤 博美(落合)	
近江 香織(高樋)	佐藤 絹子(下高崎)	伊藤 博美(落合)	
伊藤 絵美(落合)	小玉 郁子(上田町)	伊藤 智(脇村)	
三級	工藤 郁(浅見内)	伊藤 磨美(川原町)	
沢田石秀勝(湯ノ又)	伊藤 景子(新畑町)	伊藤 三男(古川町)	
加賀谷敏之(上町)	伊藤 磨美(川原町)	佐藤久兵衛(谷地中)	
畑沢 秋彦(湯ノ又)	伊藤 磨美(川原町)		
伊藤 聡一(落合)	伊藤 磨美(川原町)		
伊藤 博樹(落合)	伊藤 磨美(川原町)		

●準々決勝 大川40―19沼館 優勝候補同志の対戦。大川の好攻守で圧勝。

●準決勝 大川37〔2116―113〕17大館

いつものように立ちあがりが悪いものの、城西のスピードと高さに苦しみながら前半16―13とリード後半、ようやく本来の力を発揮して快勝。

●決勝戦 大川26〔1412―14〕27浜口

決勝戦の相手は山本郡代表の浜口小学校であった。このチームは六番一六八センチを中心に、確実なシュート力、スピードのある攻

大川小(男)惜しい一点差

二年連続準優勝

いるだけに「胸をかりる」といったムードで試合にのぞんだ。

この試合前半一コーナー。両チームの固い守りで、外からのシュートのうち合いとなった。確実な

め、ディフェンスの固さ、リバウンドの巧みさなど中学校級の技術を備えた拔群なチームである。練習試合でも一二点差をつけられて

み、左右左への小さいパスを巧みにつないでのシュートを再三にわたって試みながらフールを誘う戦法などで、一気に18―25と点差がついた。

ヤンプシュート。ボールは大きな弧を描きながらリングに吸いこまれていった。26―27と逆点された。あと2秒。「ドン」試合終了。喚声と拍手の渦。

よく戦った。持っているすべての力を出しきったのである。両チーム一礼をしてわかれようとしたとき大川の選手は、浜口の選手に握手を求め、肩を軽くたたいてお互いの健闘を讃え合っていた。

大川小チームの、このさわやかな態度に、場内から再びさかんな拍手がおくられた。

2月 ごみ収集日

町内名	56年 2 月					
	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	2	7	13	18	25	
希望ヶ丘	2	7	13	18	25	
上田町	2	7	13	18	25	
今町	2	7	13	18	25	
御蔵町	2	7	13	18	25	
小池町	2	7	13	18	25	
川原町	2	7	13	18	25	
新町	3	9	14	20	26	
一番町	3	9	14	20	26	
古川町	3	9	14	20	26	
紀久栄町	3	9	14	20	26	
中川町	3	9	14	20	26	
館町	3	9	14	20	26	
岩城町	3	9	14	20	26	
築地町	5	10	15	21	27	
畑町	5	10	15	21	27	
新矢場	5	10	15	21	27	
仲町	6	12	17	22	28	
長町	6	12	17	22	28	
米沢町	6	12	17	22	28	
雀館	6	12	17	22	28	
昭辰町	6	12	17	22	28	
大川一区	6	12	17	22	28	
〃二区	6	12	17	22	28	
〃三区	6	12	17	22	28	
〃四区	6	12	17	22	28	
馬場目	4	14	24			
富津内	4	14	24			
内川	4	14	24			
大(本村以外)	9	19	28			
の部落	9	19	28			
面湯	9	19	28			
馬川	9	19	28			

●直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(電話 3958)

< 直接搬入料 >

2 トン未満 1回につき 600円
2〜4 トン未満 1回につき 900円
4 トン以上 1回につき 1,350円
※収集日が多少変更になることもありますが、必ず収集日程表を見てください。



大会や教室を恋地で

五城目スキークラブ

五城目スキークラブ(会長佐藤俊朗)では、恋地国設スキー場を会場にスキー教室や大会を計画し、正しいスキー技術の普及とスキーヤーの底辺拡張をはかることにしています。またスキーに関心しているいろいろな相談にも応じるとしています。

十一月二十八日 三万円 長町 池田 達之
(亡父俊様の香典返しとして)
十二月十二日 二万円 今町 一関 雅和
(亡父国治様の香典返しとして)
十二月十六日 十万円 下山内 千葉 俊昭
(亡父茂様の香典返しとして)
十二月二十日 二万円 上山内 朝野 博典
(町より支給された身障者手当を寄付したもの)

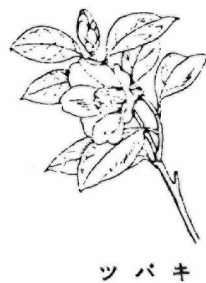
十二月二十三日 二万円 仲町 小森隆一郎
(祖母マツエ様に町より支給された身障者手当を寄付したもの)
十二月二十七日 三万円 紀久栄町 鷺谷 隆
(亡父末太郎様の香典返しとして)
十二月二十七日 三万円 匿名
(町より支給された身障者手当を寄付したもの)

善意

十二月二十日 図書 三万円
スベリ台 一台
ブランコ 一台
築地町児童館に寄贈
荒川 要五郎
(前児童館運営委員長)
永沢 繁明
八木下 美奈
(前児童館運営委員)

一月十三日

サロネブロン 三十二枚
町内の施設(保育園・学校・老人ホーム)の調理員へ寄贈
東京縫製(株)
社長 伊藤 万治郎



ツバキ

【おしらせ】

第二期 三種混合接種を行います

第二期三種混合(ジフテリア・百日ぜき・破傷風)予防接種を次の日程で行います。

これは、第一期の接種を三回完了して、一年から一年半後にもう一度行うもので、第二期として四回目を受けると非常に免疫が強くなります。対象になっているお子さんは必ず受けてください。

▽日程
1月26日(月)
五城目・面湯地区

(担当 畑沢医師 笹尾医師)

1月27日(火)

馬場目・内川・富津内・大川地区

(担当 川崎医師 笹尾医師)

▽受付時間 午後1時〜2時

▽場所 町民センター(いづみ)

▽対象者

昭和51年9月1日から52年8月31日までの間の出生者

▽注意事項

・問診票の事項は、お子さんの健康状態をみきわめるためにも重要ですので、必ず保護者が記入してください。

・当日、会場へ来る前にお子さんの体温を測定して、健康状態をもう一度確認してください。

・母子健康手帳を持参してください。

視覚

身体障害者巡回相談

身体障害者巡回相談(視覚)がありますので利用してください。

▽日時 2月4日(木)

午前10時〜午後2時
(受付は正午まで)

▽会場 秋田市職員会館(市役所裏)

▽相談事項

医学的判定(手帳交付・等級変更・年金・補装具の要否に関する医師の診断)など。

親子体力づくり教室

一月十九日から広域体育館で行われる「親子体力づくり教室」の日程および注意事項は次のとおりです。

1月19日 大川保育園児

20日 五城目保育園児

(A班)

自衛官募集

自衛官の五十五年度第四次募集を行っています。募集階級は二等陸士、二等海士および二等空士です。詳しいことは、役場住民課までお問い合わせください。

募集期間 1月1日〜3月31日

善意銀行預託者

十一月二十八日

三万円 長町 池田 達之

(亡父俊様の香典返しとして)

十二月十二日 二万円 今町 一関 雅和

(亡父国治様の香典返しとして)

十二月十六日 十万円 下山内 千葉 俊昭

(亡父茂様の香典返しとして)

十二月二十日 二万円 上山内 朝野 博典

(町より支給された身障者手当を寄付したもの)

十二月二十三日 二万円 仲町 小森隆一郎

(祖母マツエ様に町より支給された身障者手当を寄付したもの)

十二月二十七日 三万円 紀久栄町 鷺谷 隆

(亡父末太郎様の香典返しとして)

十二月二十七日 三万円 匿名

(町より支給された身障者手当を寄付したもの)

十二月二十日 図書 三万円

スベリ台 一台

ブランコ 一台

築地町児童館に寄贈

荒川 要五郎

(前児童館運営委員長)

永沢 繁明

八木下 美奈

(前児童館運営委員)

一月十三日

サロネブロン 三十二枚

町内の施設(保育園・学校・老人ホーム)の調理員へ寄贈

東京縫製(株)

社長 伊藤 万治郎